エコアクション21

環境経営レポート

2024年度版

（2024年7月～2025年6月）

2025年8月1日発行

別府建設 株式会社

目　　次

1. 組織の概要…… 1

2. エコアクション 21 導入の背景と目的…… 2

3. 認証・登録の対象範囲…… 2

4. 環境経営方針 …… 3

5. 環境経営目標 …… 4

6. 環境経営計画 …… 5

7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容…… 7

8. 環境経営目標の実績 …… 12

9. 環境経営計画の取組結果とその評価…… 13

10.今後（2025 年度以降）の計画…… 15

（1）環境経営目標 …… 15

（2）環境経営計画 …… 16

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無…… 18

12.代表者の全体評価と見直しの結果…… 19

１．組織の概要

１）事業所名及び代表者名

別府建設株式会社

代表取締役　福﨑　守

２）所在地

本社・倉庫　〒813-0032 福岡県福岡市東区土井 1 丁目 18－12

３）環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者　　渕田　優介

連絡担当者　　大久保　章子

TEL　092-691-1406　FAX　092-691-1407
E-mail beppu434@muse.ocn.ne.jp

４）事業活動の内容

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、

鋼構造物工事業、内装仕上工事業

建設業：福岡県知事許可（特-3）第 29023 号

一級建築士事務所　：県知事登録　第 1-11637 号

URL https://www.beppubld.com/

５）事業の規模

会社設立　　1968 年 5 月 1 日

資本金　　2,500 万円

活動規模	単位	2022 年度	2023 年度	2024 年度
売上高	千円	420,620	529,729	519,194
従業員	人	9	8	8
事務所床面積	㎡	67	67	67
倉庫床面積	㎡	310	310	310

６）事業年度

４月～翌年３月（エコアクション 21 の事業年度は７月～翌年６月とした）

２．エコアクション 21 導入の背景と目的

建設業は、社会基盤を担う産業であり、計画・設計から施工、解体といった建築物・工作物全体で環境問題と大きく関わっています。特に、全産業から排出され、最終処分される廃棄物の約 5 分の 1 が、建設工事に伴うものだと言われています。そのため、建設業者のより積極的な環境への取り組みは今や必須となっています。

現代社会では、地球環境問題をはじめ、少子化・高齢化、教育・文化、防災などの問題を抱え、企業も個人も社会貢献をすることが求められている時代にあると考えています。それに伴い主体的、自律的に取り組んでいくことが求められています。

現在、弊社では取組の一環として株式会社フォーバルの掲げるグリーンコンソーシアムに参画し、CO_2 削減に取組んでいます。まずは紙の削減からスタートし、GX に対しても取組を始めております。

また、地球の未来のために、持続可能な社会に向けて低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を構築することが必要であり、当社は積極的に環境への取組を行うことが不可欠と考えています。

当社の売上はここ数年で上昇傾向にあるため、環境への取組を切り口にさらに経営力向上を図りたいと考えております。エコアクション 21 の取り組む仕組みにより PDCA サイクルを定着させ、業務をより効率的、効果的に行っていきたいと考えます。

環境活動などの社会的貢献活動を行うことで社会的認知度が上がる為、第三者認証を有して、社会的信頼を高めたいと考えています。

３．認証・登録の対象範囲

（１）対象事業所

本社・倉庫

（２）対象事業活動

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鋼構造物工事業、内装仕上工事業

４．環境経営方針

環境理念

当社は、かけがえのない地球環境を守るため、省資源・省エネルギーに努め、自然・社会・人と調和した事業活動を展開します。

当社は建設の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的改善に努めます。

行動指針

１．当社に適用される環境関連法規制や当社が同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。

２．当社の事業活動において、次の事項について、具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め、実施します。

① 紙類使用量の削減、二酸化炭素排出量の削減
② ３S（整理・整頓・清掃）活動の実施
③ 木材に関する不良在庫の削減
④ 排気ガス・騒音の抑制のためのエコドライブ及び車輌整備
⑤ 節水の徹底による水使用量の削減
⑥ 地域貢献活動の推進
⑦ SDGs の活動、取り組み
⑧ ICT を活用したペーパーレス化
⑨ 現場で発生した建設副産物の再生利用
⑩ 省エネ対策としてお客様に高性能断熱材使用、内窓・エコキュート・太陽光発電・LED照明の設置の推進

３．当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知し、一般にも公表します。

制定日：2021 年 10 月 26 日
改訂日：2024 年 6 月 1 日
別府建設 株式会社
代表取締役 福﨑 守

5. 環境経営目標

・環境経営目標は、当社の事業活動に関連する目標項目（6 項目 11 目標）をサイト区分(事務所、現場、全社)として、2020 年度実績を基準年に 2023 年度～2026 年度までの中長期目標として策定しており、本年度は 2024 年度を適用しました。
・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量は 1%ずつの削減、水使用量については、基準年に対して 2023 年度までは 1%ずつ削減していましたが、順調に削減できていることから 2024 年度より 5%ずつの削減率に変更しました。
・紙使用量については当初毎年 5%の削減を目指しましたが、近年公共工事の受注件数の増加に伴い、膨大な書類提出の為なかなか目標値を達成することが難しく、2023 年度から目標値を見直し、2%ずつの削減を設定し、2026 年度までに 12%削減を目指します。
・新たに追加した項目は、一般廃棄物排出量と産業廃棄物排出量の 2%の削減、化学物質の適正使用・管理、省エネ対策・対応工事の受注 2 件ずつの増加です。これらの目標を社内周知し、全社員で取組み、目標達成を目指します。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度 実績値	中長期目標			
				2023 年度 (3%削減)	2024 年度 (4%削減)	2025 年度 (5%削減)	2026 年度 (6%削減)
			2020.7～2021.6	2023.7～2024.6	2024.7～2025.6	2025.7～2026.6	2026.7～2027.6
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	25,072	24,813	24,555	24,296
(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	14,412	14,264	14,115	13,967
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	6,470	6,276	6,211	6,147	6,082
(3)軽油使用量の削減	現場	ℓ	1,436	1,393	1,379	1,364	1,350
2. 廃棄物排出量の削減							
(1)紙の削減(コピー紙)	事務所	枚	27,044	(6%削減)	(8%削減)	(10%削減)	(12%削減)
				25,421	24,880	24,340	23,799
(2)一般廃棄物排出量の削減(可燃ごみ)	事務所	kg	45	－	43	43	42
(3)産業廃棄物排出量の削減(リサイクル率の向上)	現場	%(リサイクル率)	84	－	(2%向上)	(4%向上)	(6%向上)
				－	85	86	87
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	(3%削減)	(5%削減)	(10%削減)	(15%削減)
				162	159	150	142
4.化学物質の適正使用・管理	現場	－	－	－	適正使用・管理に努める	適正使用・管理に努める	適正使用・管理に努める
5.省エネ対策・対応工事の受注増加	全体	件	－	－	12	14	16
6.地域社会貢献活動							
(1)建設端材の地元への提供（建設発生木材の再生利用）	全体	kg（提供端材量）	80	－	80	80	80
(2)近隣清掃の実施	事務所	回	12	12	12	12	12

備考）・二酸化炭素排出量の算定は、2020 年度九州電力㈱の調整後排出係数 0.480kg-CO_2／kWh を使用した。
・（　）の削減率は基準年に対するものである。
・化学物質は自社での購入実績がないため、目標から除外した。
・サイト区分は事務所（倉庫を含む）、現場、全社（事務所＋現場）を示す。

6. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)電気使用量の 4%削減	全社	渕田	不使用時のパソコン等の電源を OFF にす	池田	通年
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	池田	通年
			無人スペースの消灯	池田	通年
			最適な室温管理に努める	池田	通年
			新電力への切り替え	大久保	通年
(2)自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量 4%削減	全社	福﨑	急加速・急停車の防止	城下	通年
			アイドリングストップ	城下	通年
			車間距離を取り、余裕のある運転	城下	通年
			効率的なルートでの移動	城下	通年
			定期車輌整備実施による燃費の向上	城下	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)ICT を活用したペーパーレス化の推進（コピー紙の削減）	事務所	渕田	両面コピーと縮小コピーに努める	大久保	通年
			DX 化を目指し、ペーパーレス化に努める	大久保	通年
			PCFAX の活用を更に進める	大久保	通年
			ミスプリント防止に努める	大久保	通年
(2)建設発生木材の 1%削減	現場	別府茂喜	木材在庫の管理	渕田	通年
			発生木材の再利用に努める		
(3)一般廃棄物排出量の削減(可燃ごみ)	事務所	別府葉子	空き箱、DM、再生可能な紙はリサイクル回収 BOX へ入れる。弁当ガラ等のゴミは持ち帰る。	大久保	通年
(4)産業廃棄物排出量の削減　(ﾘｻｲｸﾙ率の向上)	現場	城下	解体から出た廃棄物の分別に努め、産廃のリサイクル率を高める。	渕田	通年

3.水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)水使用量の3%削減	事務所	別府葉子	手洗い時に水を出し放しにしない	大久保	通年
			節水促進掲示物の設置	大久保	通年

4.化学物質の適正使用・管理

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)使用時の換気、保護具の着用の徹底	現場	福﨑	化学物質使用時の二方向による換気、ゴム手袋や防毒マスク、保護メガネの着用を徹底する	渕田	通年
(2)保管場所、保管方法の周知			冷暗所での保管。蓋をしっかり閉めるなど、流出にも注意する。	渕田	通年

5.省エネ対策・対応工事の受注増加

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)省エネシミュレーションの提示	事務所	福﨑	総工費、ランニングコスト、投資回収期間の提示	池田	通年
(2)補助金のコンサルティング			補助金申請の診断、申請の代行業務を行う		通年

6.地域社会貢献活動の推進

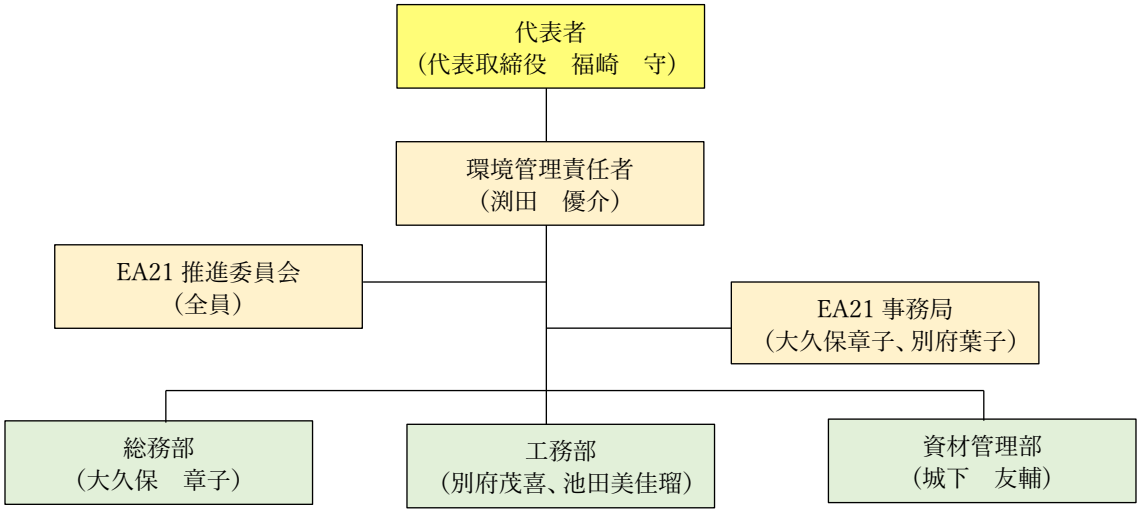
取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)建設端材の地元への提供	現場	別府茂喜	DIYや燃料として地域住民に提供する	渕田	通年
			廃棄木材をリサイクル業者へ持ち込む		
(2)近隣清掃の実施、地域行事の協力	事務所	別府茂喜	会社周辺清掃を月に一回行う	渕田	通年
			地域清掃ごみ、校区体育祭テントのトラックでの運搬作業	別府茂喜	通年

7．環境経営計画に基づき実施した取組内容

・2024 年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。

・実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取り組みました。

（1）エコアクション 21 実施体制



役割・責任・権限

所属	担当者	役割・責任・権限
代表者	福﨑　守	・ 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ ・ システムの構築・運用及び管理に必要な資源（人・設備・費用・技術）を用意する ・ 経営における課題とチャンスを明確化する ・ 環境経営方針の設定、目標・計画の承認及び従業員へ伝達を行なう ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	渕田　優介	・ 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する ・ 推進委員会を定期的に開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する ・ 環境経営目標及び活動計画を作成し、全従業員に周知する ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善及び見直しと必要な処置を行う
事務局	大久保　章子 別府　葉子	・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成 ・ 環境経営目標及び活動計画の原案作成と実績収集及び取りまとめ ・ 環境経営レポートの作成と公開（社内に備付けと地域事務局への送付） ・ 環境関連の外部コミュニケーションの受信窓口
EA21 推進委員会	全員	・ 環境管理責任者の指示のもと、環境経営システムの運用を行う ・ 環境経営方針に基づき、環境経営目標及び活動計画の策定を行い、承認を得る ・ 是正処置又は予防処置を実施し、結果を環境管理責任者に報告する ・ 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理 ・ 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する
部門長	大久保　章子 城下　友輔	・ 自部門に関連する環境経営目標及び活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門の従業員に対する環境経営方針、経営目標の説明と教育訓練の実施 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	―	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（２）環境経営計画に基づき実施した取組

・エコアクション 21 の環境への取組は、SDG s（17 のゴール）の取組と重なるものがあります。ここでは環境経営計画に基づき実施した本年度の取組を SDG s と紐付けて示します。

エコアクション21
認証番号　0013645

１．二酸化炭素排出量の削減

（１）　電気使用量の削減

・本社事務所では、昼休みや無人スペースで消灯を徹底しています。

・不使用時のパソコン等の電源を OFF にしています。

・事務所内の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコン、サーキュレーターで調節しています。

・照明器具は省エネ性能の高い LED 照明に切り替えています。

・エアコンの定期点検と保守（フィルター掃除）を行っています。

昼休みの消灯

事務所室温の管理

エアコンの保守・点検

不要な照明の消灯・LED 照明使用

（2）ガソリン、軽油使用量の削減

・エコドライブ（急発進・急停止禁止、アイドリング・ストップ等）を実施しています。
・営業車の更新時には低燃費車（ハイブリッド車、軽自動車）に切り替えています。
・毎月のガソリン、軽油使用量を把握し、定期的な車両整備を実施しています

低燃費車（ハイブリッド車）への切替

エコドライブ 10 のすすめ

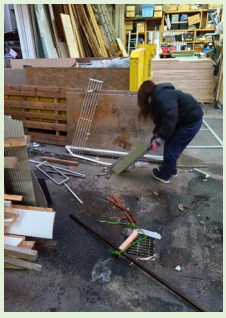
2．廃棄物排出量の削減

・両面・縮小コピーを徹底し、ミスプリント防止して紙の使用量を削減しています。
・PCFAX の活用によりペーパーレス化に努めています。
・空き箱、DM、再生可能な紙は、古紙としてリサイクル回収 BOX を設置して分別回収しています。
・産業廃棄物については、解体から出た廃棄物の分別に努め、産廃のリサイクル率を高めています。
・マニフェスト管理の徹底し、適正処理に努めました。

ごみの分別排出と排出量の把握

古紙の分別回収 BOX の設置

マニフェストの発行・管理



解体から出た廃棄物の分別作業

3．水使用量の削減

・節水シール等を使って日常的に節水活動を行っています。

・トイレの手洗いを自動水栓にしています。

節水シールの貼付け・マイカップの使用

自動水栓の設置

4．化学物質の適正使用・管理

・化学物質使用時の二方向による換気、ゴム手袋や防毒マスク、保護メガネの着用を徹底しています。

・冷暗所で保管をし、蓋をしっかり閉めるなど、流出することのないよう注意喚起しています。

・SDS(安全データシート)をファイルや共有ホルダで保管し、現場の誰もがいつでも見られる状態にしています。また、現場の入り口や休憩所に SDS の要約版や危険有害性を掲示しています。

5．省エネ対策・対応工事の受注増加

・省エネ対策対象工事をご希望のお客様へ、総工費、ランニングコスト、投資回収期間のシミュレーションのお話をさせていただいています。

・省エネ対策対応工事の場合、補助金申請の診断、申請の代行業務を行っています。

6．地域社会貢献活動の推進

・DIY や燃料として建設端材を地域住民に提供しています。
・廃棄木材をリサイクル業者へ持ち込んでいます。
・会社周辺の掃除を月に1回実施しています。また、地域清掃、校区体育祭には、トラックでのごみやテントの運搬を行っています。
・3F ホールを貸し出しています。

建設端材を地域住民へ提供

廃棄木材をリサイクル業者へ持ち込む

トラックでの地域清掃ごみの運搬

本社ビル３F ホールの貸し出し

8. 環境経営目標の実績

・2024 年運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標 5 項目 11 目標のうち、3 項目 8 目標で達成出来ました。

・目標未達となった項目の目標達成率をみると、ガソリン使用量が 83%、軽油使用料が 80%、紙の削減(コピー用紙)が 67%でした。今後はこの 2 項目 3 目標について更なる取組の周知・実施の徹底を図り、全社一丸となり目標達成に向けて取組んで参ります。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度実績	2024 年度運用期間 (2024 年 7 月～2025 年 6 月)		目標達成率	目標達成状況
			2020 年 7 月～2021 年 6 月	目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	24,813	21,731	114%	○
(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	14,264	11,476	124%	◎
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	6,211	7,460	83%	△
(3)軽油使用量の削減	現場	L	1,436	1,379	1,715	80%	△
2. 廃棄物排出量の削減							
(1)ICT を活用したペーパーレス化の推進（コピー紙の削減）	事務所	枚	27,044	24,880	37,135	67%	×
(2)建設発生木材の削減	現場	kg	109	105	107	107%	○
(3)一般廃棄物排出量の削減(可燃ごみ)	事務所	kg	45	43	43	100	○
(4)産業廃棄物排出量の削減(リサイクル率の向上・維持)	現場	%	－	80	71	89	△
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	159	102	156%	◎
4. 省エネ対策・対応工事の受注増加	全体	件	－	12	16	133	◎
5. 地域社会貢献活動の推進（近隣清掃の月 1 回実施）	事務所	回	0	12	12	100%	○

備考)・目標達成状況評価区分
◎：目標達成率≧120% ○：100%≦達成率＜120% △：80%≦達成率＜100% ×：達成率＜80% －：判定不可

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

・2024 年度運用期間における環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、紙の削減以外は取組が実施できており、概ね良好な結果となっています。

・紙の削減については公共工事で多くの紙を使用するため、大幅な削減が難しいと考え、2025 年度は実行性のある目標値への見直しを行い、引続きミスプリントや不必要なコピーを減らしていくなど取組を強化・継続していきます。

・水使用量については、達成率が高いので今後は目標値を上げて更なる取組の継続・発展を目指していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
（1）電気使用量の 4%削減	全社	◎	不使用時のパソコン等の電源を OFF にする	◎	・取組は概ね実施出来ている。今後も空調温度管理を全社員で取り組む。
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	◎	
			無人スペースの消灯	◎	
			最適な室温管理に努める	◎	
(2)自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の 4%削減	全社	△（ガソリン） △（軽油）	急加速・急停車の防止	◎	・取組は実施出来ており、エコドライブも取り組むことができた。
			アイドリングストップ	◎	
			車間距離を取り、余裕のある運転	◎	
			効率的なルートでの移動	◎	
			定期車輌整備実施による燃費の向上	◎	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)ICT を活用したペーパーレス化の推進（コピー紙の削減）	事務所	×	両面コピーと縮小コピーに努める	○	・取組は概ね実施出来たが、目標達成には至らず、目標値の見直しが必要。
			DX 化を目指し、ペーパーレス化に努める	○	
			PCFAX の活用を更に進める	◎	
			ミスプリント防止に努める	○	
(2)建設発生木材の 3%削減	現場	○	木材在庫の管理	◎	・取組は概ね実施出来ている。
			発生木材の再利用に努める	◎	
(3)一般廃棄物排出量の削減	事務所	○	資源ごみの分別を徹底する	◎	・取組は概ね実施出来ている。
			弁当ガラの持ち帰りの周知徹底	◎	
(4)産業廃棄物排出量の削減（リサイクル率の向上・維持）	現場	○	プレカット加工による端材抑制	◎	・取組は概ね実施出来ている。今後もこの取組を継続する。
			再利用を考慮した設計	◎	
			過剰な資材調達を避け、端材発生抑制に努める	◎	
			分別解体の徹底（マニフェストによる管理）	◎	

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 水使用量の 3%削減	事務所	◎	手洗い時に水を出し放しにしない	◎	・取組は実施でき、更なる節水に取り組む。
			節水促進掲示物の設置	◎	

4. 化学物質の適正使用・管理

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)化学物質の適正使用・管理	現場	―	適正使用・管理に努める	◎	・取組は概ね実施出来ている。

5. 省エネ対策・対応工事の受注増加

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)省エネシミュレーションの提示	事務所	◎	総工費、ランニングコスト、投資回収機関の提示	◎	・取組は概ね実施できている。
(2)補助金のコンサルティング	事務所	◎	補助金申請の診断、申請の代行業務を行う	◎	・取組は概ね実施できている。

6. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)建設端材の地元への提供	現場	○	DIY や燃料として地域住民に提供する	◎	・今後も活動を継続していく。
			廃棄木材をリサイクル業者へ持ち込む		
(2)近隣清掃の実施、地域行事の協力	事務所	○	会社周辺清掃を月に一回行う	◎	・取組は概ね実施できている。
			地域清掃ごみ、校区体育祭テントのトラックでの運搬作業		

10. 今後（2025 年度以降）の計画

(1)環境経営目標

・2025 年度以降の環境経営目標は、今回改訂（2024 年 6 月）した環境経営方針を踏まえて、6 項目 12 項目に設定しました。

・ガソリン使用量については、トラック 3 台、自動車 5 台だった 2020 年基準年に比べ、現在トラック 3 台、自動車 7 台と社用車の増加に伴い使用量が増えてきたと考えられるため、基準値を見直し、目標値を再設定し、更なる目標達成に向けて取り組んで参ります。

・紙の使用については、公共工事の受注件数１件の 2020 年度基準年に比べ、2023 年から毎年公共工事の受注件数が２～３件に増えているため、基準値を見直し、目標値を再設定し、更なる目標達成に向けて取り組んで参ります。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度実績	目標		
				2024 年度（4%削減）	2025 年度（5%削減）	2026 年度（6%削減）
			2020 年 7 月～2021 年 6 月	2024 年 7 月～2025 年 6 月	2025 年 7 月～2026 年 6 月	2026 年 7 月～2027 年 6 月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	24,813	24,555	24,296
(1)電気使用量の削減	全社	kWh	14,858	14,264	14,115	13,967
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	6,211	6,147	6,082
(3)軽油使用量の削減	現場	L	1,436	1,379	1,364	1,350
2. 廃棄物排出量の削減						
(1)ICT を活用したペーパーレス化の推進（コピー紙の削減）	事務所	枚	27,044	(8%削減)	(10%削減)	(12%削減)
				24,880	24,340	23,799
(2)一般廃棄物排出量の削減（可燃ごみ）	事務所	kg	45	43	43	42
(3)産業廃棄物排出量の削減（リサイクル率の向上）	現場	%（リサイクル率）	84	(2%向上)	(4%向上)	(6%向上)
				85	86	87
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	(5%削減)	(10%削減)	(15%削減)
				159	150	142
4. 化学物質の適正使用・管理	現場	－	－	－	適正使用・管理に努める	適正使用・管理に努める
5. 省エネ対策・対応工事の受注増加	全社	件	－	12	14	16
6. 地域社会貢献活動						
(1)近隣清掃の実施	事務所	回	12	12	12	12
(2)建設端材の地元への提供	全社	kg	80	－	80	80

（2）環境経営計画

・2025 年度以降の環境経営計画は今回の運用結果を鑑みると共に、新たに設定した目標項目について、目標達成のための具体的取組を定めました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)電気使用量の 4%削減	全社	渕田	不使用時のパソコン等の電源を OFF にする	池田	通年
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	池田	通年
			無人スペースの消灯	池田	通年
			最適な室温管理に努める	池田	通年
			新電力への切り替え	大久保	通年
(2)自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量 4%削減	全社	福﨑	急加速・急停車の防止	城下	通年
			アイドリングストップ	城下	通年
			車間距離を取り、余裕のある運転	城下	通年
			効率的なルートでの移動	城下	通年
			定期車輌整備実施による燃費の向上	城下	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1) ICT を活用したペーパーレス化の推進（コピー紙の 8%削減）	事務所	渕田	両面コピーと縮小コピーに努める	大久保	通年
			DX 化を目指し、ペーパーレス化に努め	大久保	通年
			PCFAX の活用を更に進める	大久保	通年
			ミスプリント防止に努める	大久保	通年
(2)一般廃棄物排出量の削減 （可燃ごみ）	事務所	大久保	資源ごみと燃えるごみを分別して重量を計測し記録する	池田	通年
			弁当ガラの持ち帰りを周知徹底	池田	通年
(3)産業廃棄物排出量の削減（リサイクル率の向上）	現場	福﨑	現場における廃棄物の分別を徹底し、混廃の量を減らす	渕田	通年
			プレカット加工による端材抑制	渕田	通年
			廃棄木材をリサイクル業者へ持ち込む	渕田	通年
			過剰な資材調達を避け、端材発生抑制に努める	渕田	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)水使用量の 5%削減	事務所	別府葉子	手洗い時に水を出し放しにしない	大久保	通年
			節水促進掲示物の設置	大久保	通年

4. 化学物質の適正管理

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)化学物質の適正管理	現場	城下	保管場所、取扱方法、廃棄方法などを守る	渕田	通年
			安全データシート(SDS)を活用し、化学物質の情報を周知徹底する	渕田	通年

5. 省エネ対策・対応工事の受注増加

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)省エネ対策・対応工事の受注増(5 件)	全体	福﨑	お客様のニーズを把握した省エネ対策の推進	渕田	通年
			補助金制度、省エネ効果、快適性の向上などの提案	渕田	通年

6. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)地域社会貢献活動の推進	事務所	別府茂喜	建設端材を DIY や燃料として地域住民に提供する	渕田	通年
			会社周辺清掃を月に 1 回行う	渕田	通年
			地域清掃ごみ、校区体育祭テントのトラックでの運搬作業	渕田	地域清掃年 2 回 体育祭年 1 回

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

・当社の事業活動、製品・サービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
・2024 年度運用期間中の事業活動に対して、2025 年 6 月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	遵守結果
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理 マニフェスト交付状況の定期報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検の実施	○
家電リサイクル法	特定製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	－

備考）　評価区分　○：遵守　　×：不遵守　　－：該当なし

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

（１）取組状況の全体評価

取組項目	評価
1. 環境経営目標とその達成状況	2024 年度の環境経営目標について、CO2 排出量は目標を上回る削減（達成率 114%）となり、全体的な省エネの取り組みが成果を上げている。また、水使用量や地域貢献活動も計画通り行われ、良好な結果が得られた。一方で、社用車並びに受注工事数の増加により、燃料使用量の削減とコピー紙の削減で目標未達の月が多くなっている。2025 年度より新たな目標値を設定し更なる取組を強化していく。
2. 環境経営計画の実施状況	目標達成が難しいながらも、環境問題に関する社員一人一人の取組みは日々の業務にも表れており、一つ一つの取り組みが、会社のイメージアップにも繋がっている。
3. 環境関連法規の見直し・遵守状況	本社内の廃棄物排出量については、社員共に認識の共有は行われており、分別処理に努めていると評価する。 現場においても、ごみの分別・リサイクルの周知徹底を行い、取り組みの定着がみられた。この取組みを引き続き継続していくことが最も重要である。
4. 内部・外部からの苦情・賞賛等の受付結果	月一回の会社周辺の清掃活動の際に、近隣住民より感謝の言葉を頂いた。社員の士気も上がり、より地域住民への奉仕の気持ちを大事にするようになった。

（２）見直しの結果

・環境経営方針は目標の下方修正、現状維持ともにあり、新たな目標値を目指して取り組んで参ります。実施体制は現計画を維持するものとします。

・目標、計画に関しては 3 年連続公共事業案件獲得により報告書作成のために紙の印刷枚数が増加し、来年度も公共事業案件を獲得した場合に現状の目標数値の達成が難しいことから当項目の目標数値の見直しを 2024 年度より行うこととしました。

・環境経営目標の共有を定期的に実施したことにより、全社員で目標達成に対しての意識を高めることができました。

・2022 年度よりペルプ（紙の再生加工システム：捨てず燃やさずめぐる紙）を取り入れ、公共工事などの受注増加により紙の使用枚数は増えつつありますが、リユースの観点から環境に配慮した取組みを行っています。併せて更に DX 化を推進していき、可能な限りペーパーレス化
を進めていきます。

・ZEH 住宅(省エネ・環境対策)の推奨し、住まいのエネルギー
消費量を削減し、環境負荷の軽減、さらには創エネ可能な先進
住宅を増やすことに貢献していきます。

・会社事務所も 2024 年度に内窓を設置しました。断熱性能を上げ、節電・省エネの効果を期待するとともに、環境マネジメントへ寄与できるものと考えています。

別府建設株式会社
代表取締役　福崎　守